

<<出土資料と漢字文化圈>>

图书基本信息

书名：<<出土資料と漢字文化圈>>

13位ISBN编号：9784762928932

10位ISBN编号：4762928933

出版时间：2011-3-31

出版时间：汲古書院

作者：谷中信一 編

版权说明：本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问：<http://www.tushu007.com>

<<出土資料と漢字文化圏>>

内容概要

【序文】より（抜粋）

本書は、平成一九年度から二一年度に亘る三年間の日本学術振興会科学研究費助成による基盤研究（b）「新出土資料を通してみた古代東アジア世界の諸相 漢字文化圏の中の地域性」（課題番号：20320009）の研究成果である。

本書に収めてある論文一七篇は、いわゆる漢字文化圏で発見された青銅器も含む出土資料全般についての研究論文である。

漢字文化圏とは言いながら、中国大陸での新出楚簡に関する論文に集中しているのは、現在の出土状況を考えればやむを得ないことである。

われわれ研究グループは、みなそれぞれ異なる研究分野を持ち、それぞれの研究テーマに沿って研究しているのであるが、その一方で全員が出土資料を扱うという共通点を持っている。

このことの意義は大きい。

なぜならば、出土資料を単眼ではなく複眼で、言い換えれば対象を立体的に見ることができることになるからである。

従って、本論文集は単なる研究成果の寄せ集めとは違う。

例えば、『凡物流形』に関する論考が四本あるが、これらは全く別々の視点から独立して執筆されたものであり、始めから相互的連関を意図していたわけではないのであるが、先秦思想史や同文化史、中国古文字学、書法史など、それぞれ専攻を異にする立場から議論が展開している。

また郭店楚墓の下葬年代をめぐる、思想史研究の立場と考古研究の立場からそれぞれ論が立てられており、両者の言い分は全く相容れないのであるが、読者はそうした白熱した論争に思わず引き込まれてしまうであろう。

本論文集に展開される一七篇の論考を足場に新たな知見が掘り起こされ、そしてそこから更に活気に満ちた論争が展開していくなれば、編者としてこれ以上の喜びはない。

<<出土資料と漢字文化圈>>

书籍目录

版权说明

本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问:<http://www.tushu007.com>